

科目名	マーケットメカニズムとトレーダー行動		
分類	選択科目（総合科目群）	単位	2単位
担当	宇野 淳（教授）		

*本科目は授業でPCを利用する為、履修者数に制限があります。

1 目的（ゴール）

金融市場における行動は、机上で練られた最適な戦略が、マーケットで他の参加者の反応や制約条件に直面し、最適でなくなることがしばしば経験される。この講義では、現実の証券市場を模擬した「仮想市場」のなかで実際に取引を行い、マーケットにおける行動で必要とされる判断力や分析力、的確な意思決定について学習する。マーケットの仕組み（メカニズム）が取引者に与える影響についても実践を通して体感することを狙いとしている。本科目は文部科学省の「専門職大学院形成支援プログラム」の支援を受け実施される。

2 講義内容（主題・方針・内容等）

この講義は、仮想的に作られた「取引所取引」と「相対取引」の2つのシステムを使って、実際に取引を行う実習型の授業である。取引対象としては、株式、国債、コメを扱う。取引ゲームでは、投資家や証券会社の役割が与えられ、必要に応じて履修者はホールとサイバートレーディングルームに分かれて、取引に参加させるといった臨場感あふれる設定で授業を行う。

この講義の重要なトピックスは、市場に流れる情報が価格形成にどのようなインパクトを与えるかを理解することにある。異なるマーケット環境のもとで取引してみると、過去の取引情報やリアルタイムで伝達される情報の価値が、実感として理解されるだろう。流動性のない証券の取引や参加者間の情報格差がもたらす行動の違いなども取り上げる。講義内容は、これまでマーケットでの取引経験のないひとでもスムーズに学習できるように段階的に課題が設定されるので、安心して参加してもらいたい。

この講義は、トレーディング実務に精通した伊藤祐輔氏（シンプレクス・インスティテュート）、斎藤聖美氏（ジェイ・ボンド証券）の協力のもとで実施する。そのほか、プロの債券トレーダーやファンド・マネージャーによるショート・レクチャや取引実践なども盛り込む予定である。

3 キーワード

仮想市場、マーケットメカニズム、情報、流動性、入札、取引所取引、相対取引、ポジション管理、

4 受講に必要な（事前の）基礎知識、スキルなど

マーケットにおける取引経験の有無は前提としない。「エクイティ・インベストメント」「債券インベストメント」の知識が必要である。「マーケット・マイクロストラクチャー」「行動ファイナンス」については、これと並行して、またはこのあとで履修すると効果的であろう。

5 スケジュールと講義項目

	講義項目
1	講義のオリエンテーション，マーケットのいろいろ
2	(仮想市場実習とレクチャー) 株式取引と情報 (1)
3	(仮想市場実習とレクチャー) 株式取引と情報 (2)
4	(仮想市場実習とレクチャー) 株価形成と行動ファイナンス
5	(仮想市場実習とレクチャー) 流動性を考慮した取引戦略
6	(仮想市場実習とレクチャー) 収益目標をもった取引戦略
7	(仮想市場実習とレクチャー) ポジション管理
8	(仮想市場実習) 株式の総合取引
9	(仮想市場実習) コメ市場における相対取引
10	(仮想市場実習とレクチャー) 相対取引の基礎 (債券トレーダーに聞く)
11	(仮想市場実習とレクチャー) 債券取引とニュース
12	(仮想市場実習とレクチャー) 短期取引
13	(仮想市場実習とレクチャー) 国債入札
14	(仮想市場実習) 債券の総合取引

6 評価方法 (単位認定)

講義への貢献度	50 %
課題	50 %
中間試験	%
期末試験	%
レポート	%

(注) 講義への貢献度には，仮想市場実習におけるパフォーマンスも含まれます。

7 テキスト

未定

8 参考文献

未定